

智頭町の大切な地域資源



6月18日(火)

JA鳥取いなば 智頭花き集出荷施設
「りんどう」出荷

JA鳥取いなば智頭りんどう生産部会が中心となって栽培を進める、本町特産の『りんどう』の初出荷に向けた選花作業が行われました。作業の前には「目合わせ」会が開催され、生産者、選花作業員、JA担当職員、八頭農業改良普及所職員が、生育・管理状況の共有や、品質・選花基準などの確認を行いました。

今年は5月に雨が少なく、土壌の乾燥が懸念されましたが、生産者からは「上々の出来となり、安心した。」との声が聞かれました。

選花作業は、7月下旬をピークに8月中旬まで続き、兵庫や大阪、広島などの市場に約5万本が出荷される予定です。



6月15日(土)

那岐山
ドウダンツツジの森
再生事業

那岐山を守る会が、「那岐山ドウダンツツジの森再生事業」として山頂付近から採取した新芽をプランターに植栽する作業を行いました。併せて、プランター設置場所の鹿柵整備、登山道の草刈りや階段の整備等も実施しました。

那岐山では、ここ10年で鹿の食害や周囲の植生の影響を受け、山頂付近に群生する「ドウダンツツジ」の立ち枯れが深刻化しています。同会で

は町花の「ドウダンツツジ」を守るため、7年計画で花を那岐山へ還す取組みを計画しています。

同会の檀原和人会長は「素人がどれだけうまく育てられるかは分からないが、地元の人の手で町花を守っていきたい。」と意気込みを語りました。※登山道の整備では、株式会社寺谷組が地域貢献活動の一環で、こわれた木の階段の修理を行い、登山しやすい環境が整えられました。